

 **計画策定資料** 

# 1 あま市の現状と課題

## (1) あま市の基礎データからのまとめ

(資料：地域福祉に関するアンケート調査報告書 P.77～86)

### ① 人口・世帯の状況

年齢別人口の推移（住民基本台帳・外国人登録：平成20年～平成24年）では、65歳以上の人口が1.2倍高くなっており高齢化が急速に進展しています。(P.77)

また、人口・世帯数の推移（国勢調査：平成2年～平成22年）では、増加傾向ですが、1世帯当たりの人員は減少傾向にあります。(P.78)

### ② 高齢者の状況

高齢者のいる世帯の推移（国勢調査：平成12年～平成22年）では、増加傾向で、高齢者夫婦世帯や高齢者単身世帯もともに増加しています。(P.79)

高齢者の人口の推移（住民基本台帳・外国人登録：平成19年～平成23年）では、年々増加傾向にあり、それに伴い要支援・要介護者の推移（庁内資料：平成22年～平成24年）でも、年々増加傾向にあります。(P.80、81)

### ③ 障がいのある人の状況

障がい等級別身体障害者手帳所持者の推移（庁内資料：平成19年～平成22年）、障がい等級別の精神障害者保健福祉手帳交付数の推移（庁内資料：平成20年～平成22年）では、各階級ともに増加しています。(P.82、84)

判定別療育手帳交付数の推移（庁内資料：平成19年～平成22年）では、全体的に微増しています。(P.83)

### ④ 児童・核家族世帯の状況

児童人口の推移（住民基本台帳・外国人登録：平成19年～平成24年）では、全体として横ばい傾向にあります。(P.85)

また、核家族世帯数の推移（国勢調査：平成2年～平成22年）では、増加傾向にあります。(P.86)

## (2) 一般市民アンケート調査からみえる課題

(資料:地域福祉に関するアンケート調査報告書 P.5~33)

平成24年度において実施した地域福祉に関するアンケート調査の結果から、主な課題を取り上げます。

### 課題

#### 地域の人とのつきあいの低下

### 現状

住民が、「助け合うべき地域」と考える範囲は、「隣近所」「自治会・町内会」がそれぞれ4割程度となっています。(P.9)

しかし、実際の地域とのつきあいの程度をみると、「挨拶をする程度」や「ほとんどつきあいが無い」が36.8%を占めています。地域の人と助け合うべきと考える人は半数以上いますが、実際はあまり行えていないということが分かります。(P.10)

### 対策・施策の方向性

- 基本目標1:互いに支え合うきずなづくり

### 課題

#### ボランティアや地域活動への積極的な参加の促進

### 現状

ボランティア活動に「積極的に参加したい」「内容によっては参加したい」を合わせると67.9%と(P.24)、参加の意志を持っている人が多いにも関わらず、ボランティア活動に参加したことがない人が6割以上います。(P.21)

参加を促すために必要なことは、きっかけをつくるための情報提供や、時間や体力の負担が少ない活動などが挙げられます。(P.23)

### 対策・施策の方向性

- 基本目標1:互いに支え合うきずなづくり

## 課題

### 災害時の対策の整備

## 現状

災害時の避難場所を知らない人が約2割いることが分かりました。(P.25)  
また、9割以上の方が、乳幼児や高齢者に対して災害に備える取り組みをした方がよいと答えており、災害時の支援や検討が必要と考えます。(P.28)

## 対策・施策の方向性

- 基本目標3:いつまでも安心して暮らせるまちづくり

## 課題

### 地域福祉の充実

## 現状

住民が市に求める最も多かった福祉施策は、「高齢者が安心して暮らせる在宅福祉施策」となっています。(P.29) また、こういった福祉サービスの充実のためには市民と行政が協力し合うことも必要と考えています。(P.30)

社会福祉協議会に期待する項目として「お年寄りの介護や見守りなどに関すること」が最も多く、高齢者への福祉サービスが求められています。(P.32)

## 対策・施策の方向性

- 基本目標2:地域力を高めるためのしくみづくり

### (3) 団体アンケート調査からみえる課題

(資料:地域福祉に関するアンケート調査報告書 P.35～49)

#### 課題

#### 地域内の交流に関する課題

#### 現状

- 子どもと高齢者、健常者と障がい者がふれあえる機会、場がない。(P.38)
- 高齢化に伴い増加する高齢者や独居高齢者、障がい者、子どもへの見守りが必要である。(P.38、41、43)
- 日頃から近隣の人との交流が大切である。(P.38、39)

#### 対策・施策の方向性

- 基本目標1:互いに支え合うきずなづくり

#### 課題

#### 福祉水準の向上

#### 現状

- 旧3町それぞれのよさが残っているが、あま市全体となると難しい。(P.45)
- 高齢者や障がい者の雇用の場が必要である。(P.39、48)
- 交通の便が悪い。(コミュニティバスの運営、イベント等時の送迎)(P.38、45)
- 幼いころからの福祉教育をしてほしい。(P.38、39)

#### 対策・施策の方向性

- 基本目標3:いつまでも安心して暮らせるまちづくり

**課題****地域福祉を支える人材の育成****現状**

- 現代の流れに沿った人材育成が必要である。(P.49)
- ボランティア活動への理解をしてほしい。(P.49)
- 相談しやすい窓口にしてほしい。(P.49)

**対策・施策の方向性**

- 基本目標2:地域力を高めるためのしくみづくり

#### (4) 団体ヒアリング調査からみえる課題

(資料：地域福祉に関するアンケート調査報告書 P.51～54)

##### 課題

### 高齢化への対策

##### 現状

- もしもの時に動けない人（独居高齢者）の支援をしたいが、そういった人の情報がない。（P.51、52）
- 障がい者の高齢化も進み、今後の介護の問題がある。（P.51）

##### 対策・施策の方向性

- 基本目標2：地域力を高めるためのしくみづくり

##### 課題

### 各種団体の問題

##### 現状

- 団体の活動できる場がない。市内の空き部屋等を利用できるようにしてほしい。（P.51～53）
- 各種団体との横のつながりを持ち、情報交換ができる仕組みづくりが必要である。（P.52）
- 各障がい者施設や作業所の場所がわかるマップがあるとよい。（P.52）

##### 対策・施策の方向性

- 基本目標1：互いに支え合うきずなづくり
- 基本目標2：地域力を高めるためのしくみづくり

**課題****地域福祉活動の強化****現状**

- 社協と行政が別々のため連携をとってほしい。(P.52)
- 住民が行政参加できる環境があるとよい。(P.52)
- 地域の人とのつながり、若い人の地域活動参加の推進が必要である。(P.53)
- 市や団体、病院、施設とのネットワークづくりが必要である。(P.51)
- 気軽にできる相談窓口があるとよい。(電話など)(P.53)
- 自分でできることは自分で行い、福祉が必要な人を支援する姿勢が必要である。(P.51)

**対策・施策の方向性**

- 基本目標2:地域力を高めるためのしくみづくり

## 2 基本理念と基本目標

あま市では、第1次あま市総合計画（2012～2021）において、施策の大綱の一つとして、「市民力を活用した多様な福祉サービスを提供するまちをつくる」と定め、地域福祉活動の促進による共助型の地域福祉社会づくりを推進しています。

従って、あま市地域福祉計画では、総合計画における施策の大綱に基づき、基本理念、基本目標を定め、計画を推進していきます。

### 基本理念

**（案）きずなを高める 暮らしやすいまち あま**

### 基本目標

#### 1 互いに支え合うきずなづくり

地域福祉を進めるには、普段から隣近所や住民同士による協力や連携（あいさつ、見守り、声掛け、交流の機会づくり）をしていくことが重要になります。そのため、住民同士のふれあいを進め、地域コミュニティの形成や強化に努めます。

また、ボランティア活動を推進し地域福祉に対する意識の高揚を図り、地域の活性化につなげます。

#### 2 地域力を高めるためのしくみづくり

今後も少子高齢化社会の進行に伴い、地域福祉を担う若者が減少し、高齢者が高齢者を支えるといった状況が強まることが予測されます。福祉教育などを通じて地域福祉の推進を担う人材の育成や、市民や関係機関、行政との連携などを進めることで、地域福祉推進のための体制をつくっていきます。

#### 3 いつまでも安心して暮らせるまちづくり

「高齢者がひとりでも」「介護が必要になっても」「障がいがあっても」「子育て中でも」「災害時でも」住み慣れた地域で安心して暮らし続けていくことは、全ての市民にとって共通する願いです。生涯を通じて誰もが安心して暮らせるよう、こころとからだの健康づくり、医療・保健・福祉の充実に努めるなど、安心して自立した生活ができるまちづくりを進めます。

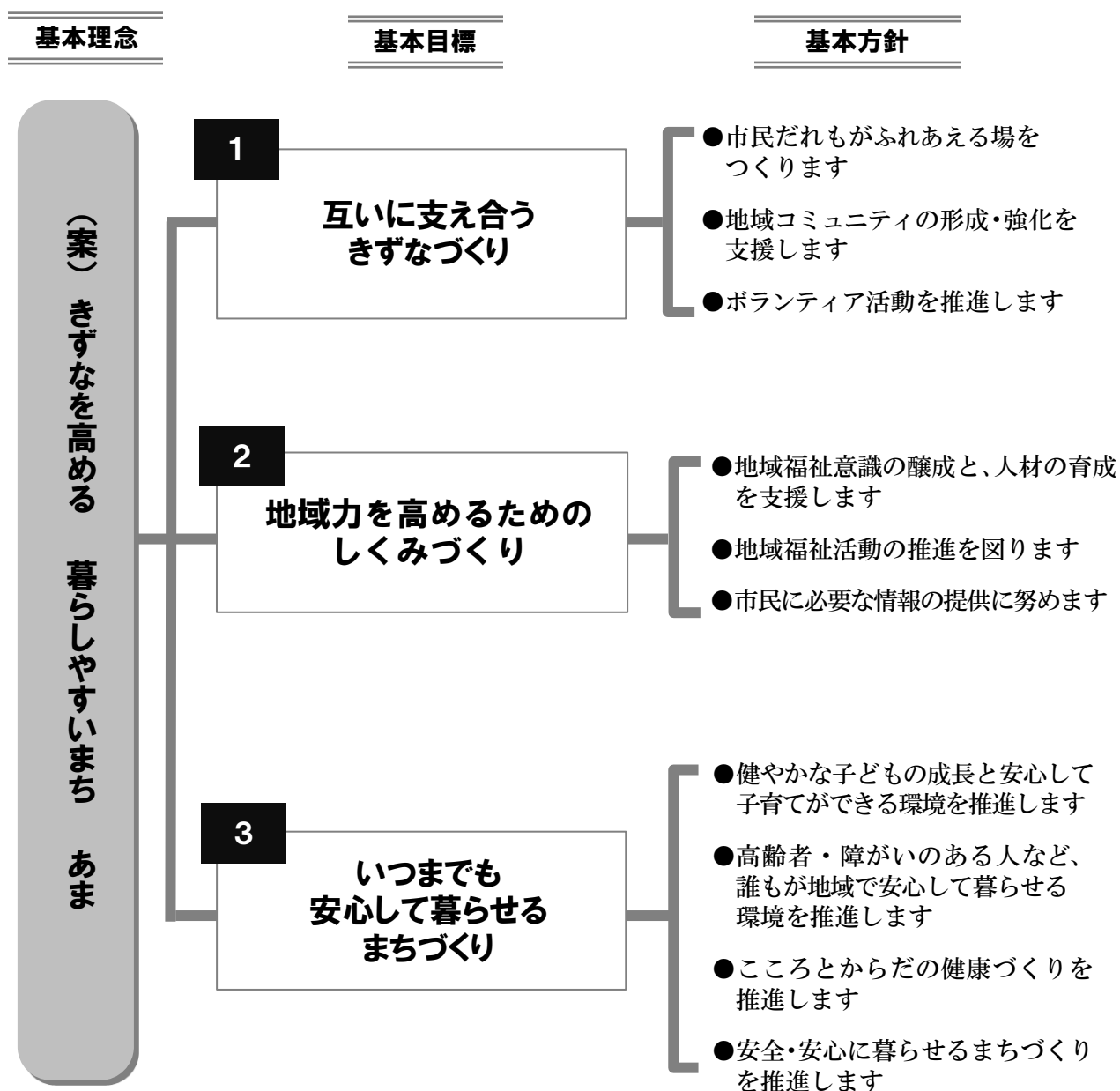


### 3 計画の体系図

#### 《あま市総合計画 施策の大綱2-2》

市民力を活用した多様な福祉サービスを提供するまちをつくる

#### 《あま市地域福祉計画 体系図》



## 4 地域懇談会（ワークショップ形式）の進め方



### コンセプト

#### 協働と役割

##### ▶ ポイント

- 相談できる人
- つどえる場所
- まさかの時、困ったときに支える仕組み

### 《内容》

#### 目標 1

#### 互いに支え合うきずなづくり

- 近所つきあい
- 個人情報
- 居場所づくり
- ボランティア活動・地域活動

#### 目標 2

#### 地域力を高めるためのしくみづくり

- 人材育成（どのような人が必要か）
- 市民に必要な情報をどう提供するのか

#### 目標 3

#### いつまでも安心して暮らせるまちづくり

- 子ども、高齢者、障がい者
- 災害時の対策
- 居場所づくり
- ボランティア活動・地域活動